

公益財団法人山田科学振興財団
2025年度研究交歓会 次第

2025年 10 月25日(土) 9:30~
於: 東京コンファレンスセンター・品川 5階大ホールB

【開会挨拶】 理事長 石川 冬木(京大)

【成果発表会】 発表10分・質疑応答5分(敬称略)

講演順	演 題・演 者		座 長	
1	新規機能性脂質の生理的意義の解明と機能性評価	東京農工大学大学院農学研究院 みやもと じゅんき 宮本 潤基 (日本農芸化学会推薦)	長谷 あきら (京大)	9:40 9:55
2	核膜-液胞間接触部位が仲介するグルコース飢餓時のエルゴステロール合成調節機構	山形大学理学部 たむら やすし 田村 康 (日本細胞生物学会推薦)	長谷 あきら (京大)	9:57 10:12
3	ラメラ構造を有する希土類錯体の結晶破碎と光発現	青山学院大学理工学部 はせがわ みき 長谷川 美貴 (個人推薦)	深瀬 浩一 (阪大)	10:15 10:30
4	<i>Pseudomonas protegens</i> におけるクオラムセンシング機構の化学的解明	大阪公立大学大学院農学研究科 かい けんじ 甲斐 建次 (日本農芸化学会推薦)	深瀬 浩一 (阪大)	10:32 10:47
休 憩				
5	成体全能性幹細胞ニッチの探索とその分子的特徴の解明	東邦大学理学部 かしま まこと 鹿島 誠 (日本発生生物学会推薦)	入来 篤史 (帝京大)	10:55 11:10
6	タンパク質合成装置の弱点と、その機能を補助する翻訳因子	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 ちやだに ゆうへい 茶谷 悠平 (日本遺伝学会推薦)	入来 篤史 (帝京大)	11:12 11:27
7	徐冷焼入れしたAl-Zn-Mg合金におけるナノ組織の形成	名古屋工業大学大学院工学研究科 なりた まみ 成田 麻未 (日本金属学会推薦)	森 初果 (東大)	11:30 11:45
8	酸高密度構造におけるプロトン伝導機構	京都大学大学院 エネルギー科学研究科 おがわ たかや 小川 敬也 (電気化学会推薦)	森 初果 (東大)	11:47 12:02
休憩(昼食:松花堂弁当)				
9	目のない線虫はどのように光を感じている?	広島大学大学院統合生命科学研究科 おくむら みさこ 奥村 美紗子 (日本発生生物学会推薦)	森 郁恵 (名大)	13:00 13:15
10	動物のからだづくりを導く拡散性分子の勾配制御	東京学芸大学教育学部 広域自然科学講座 やまもと たかよし 山元 孝佳 (日本動物学会推薦)	森 郁恵 (名大)	13:17 13:32
11	膜タンパク質を可視化する蛍光スイッチプローブの開発	九州大学大学院理学院理学研究院 ほり ゆういちろう 堀 雄一郎 (日本化学会推薦)	村田 道雄 (阪大)	13:35 13:50
12	ゲノムの光操作技術の開発	東京大学大学院総合文化研究科 さとう もりとし 佐藤 守俊 (日本化学会推薦)	村田 道雄 (阪大)	13:52 14:07
休 憩				

13	動物と植物の高温適応に関わるRNA結合分子の解析 甲南大学理工学部 おおた あかね 太田 茜 (日本動物学会)	白須 賢 (理研)	14:15 14:30
14	視覚情報から眼球運動情報への脳内座標変換メカニズムの解明 東北大学大学院医学系研究科 たかはし まゆ 高橋 真有 (日本神経科学学会推薦)	白須 賢 (理研)	14:32 14:47
15	高分子材料の高純度化による潜在機能の開拓 東北大学多元物質科学研究所 おか こうき 岡 弘樹 (日本結晶学会推薦)	原田 明 (阪大)	14:50 15:05
16	磁性ナノ粒子と磁場による初期エンドソーム膜損傷の制御 岩手大学理工学部 しば ようこ 芝 陽子 (日本細胞生物学会推薦)	原田 明 (阪大)	15:07 15:22

休憩

17	長寿命核 ^{180m} Taの半減期測定 大阪大学核物理研究センター うめはら 梅原 さおり (個人推薦)	肥山詠美子 (東北大/理研)	15:35 15:50
18	原子核のヒッグス応答による新奇超流動の探索 大阪大学核物理研究センター おおた しんすけ 大田 晋輔 (個人推薦)	肥山詠美子 (東北大/理研)	15:52 16:07
19	ゲノム複製を担うDNAポリメラーゼ機能とゲノム安定性 がん研究会がん研究所 だいがく やすかず 大学 保一 (日本遺伝学会推薦)	鍋倉 淳一 (生理研)	16:10 16:25

【閉会挨拶】 選考委員長 鍋倉 淳一(生理研) 16:25

【講演会】 演 題: 生物種の生存戦略
演 者: 理事長 石川 冬木(京大) 16:40 ~ 17:30

【写真撮影】 17:35

【懇親会】 3Fレストラン 18:00

スケジュールは変更になる可能性があります
2025.8.2 | 現在